

人間を救うのは、人間だ。

講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた電気ショックなどが学べます

2/19(月)	県総合体育センター	9:00~16:30
3/20(水・祝)	日赤富山県支部	9:00~16:30

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の担当、けがの担当、搬送などが学べます

2/21(水)~22(木)	県総合体育センター	9:00~16:30
3/23(土)~24(日)	日赤富山県支部	9:00~16:30

■ 健康生活支援員養成講習：2日間コース

健康増進と高齢者に起こりやすい事故の予防・手当、日常生活の自立に向けた介護の知識と技術などが学べます

2/3(土)~4(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
-------------	---------	------------

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます

3/2(土)~3(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
-------------	---------	------------

指導員派遣

- 電話で、開催希望日時・希望内容・受講者人数・会場をお知らせ下さい。
- 派遣は、受講者が10名以上の場合とさせていただきます。
- 指導員の手配や資材の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。



受講のお申し込みやお問い合わせ先
 日本赤十字社富山県支部 事業推進課
 TEL 076-451-7878
<https://www.jrc.or.jp/chapter/toyama/study/>
 (ホームページから申し込みができます)

お問い合わせ先
 富山県赤十字血液センター
 TEL 076-451-5555
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/toyama/>



街頭献血のお知らせ

★お昼時間は受付をお休みします。
 ★日程は都合により変更することがあります。

2月	4日(日)	アル・プラザ小杉	9:00~12:00	13:15~16:00
		イオンモールとなみ	9:00~12:00	13:20~16:00
	10日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	11日(日)	アップルヒル	9:30~12:00	13:15~16:00
		ファボーレ		
	17日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	18日(日)	ファボーレ		
	24日(土)	イオンモール高岡		
	25日(日)	ファボーレ		
3月	2日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	3日(日)	ファボーレ		
	10日(日)	イオンモール高岡	9:30~12:00	13:15~16:00
		アピタ富山東店		
	16日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	17日(日)	ファボーレ		
	20日(水)	イオンモール高岡		
	23日(土)	イオンモール高岡		
	24日(日)	ファボーレ	9:30~16:00	
	31日(日)	ハッピータウン氷見店		

◆ 上記以外の献血会場

マリエ献血ルーム
 富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F TEL 076-445-4500
 受付時間は、【成分献血】 …… 10:00~12:00 14:00~17:30
 【全血献血】 …… 10:00~12:30 14:00~18:00



輸血を受けられた方(ご家族)からのメッセージ募集

富山県赤十字血液センターでは、献血の大切さを広めるため、輸血を受けられた方やそのご家族からのメッセージを募集しています。
 いただいたメッセージは、当血液センターホームページに掲載するほか、様々な献血の啓発活動に使用させていただきます。

「ありがとうの声応募フォーム」は、富山県赤十字血液センターホームページに掲載しています。

「照らそう命の灯 ～献血で心も身体もぽっかぽっか～」

富山県学生献血推進ボランティアが、12月16日(土)イオンモール高岡、12月17日(日)ファボーレにおいて「全国学生クリスマス献血キャンペーン2023」を実施し、2日間で120名の方に献血へのご協力をいただきました。

キャンペーンは、例年12月に実施しており、若年層を中心とした各年代層への献血の理解と協力を求めました。当日は、富山大学、富山国際大学、富山国際大学付属高校、富山高等専門学校の学生ボランティア9名が参加し、献血の呼びかけや記念品(ライトキャンドル)をお渡ししました。



赤十字とやま

地域とともに、災害に備える



避難所運営ゲームを体験中

「杖をついたおばあさんが避難してきたら?」「トイレの水が出ないと言われたら?」——富山県南砺市のアミューホールにおいて、南砺市内の地域奉仕団8団の団員と福野高等学校の生徒合わせて109人が避難所の運営と開設について理解を深めました。地域も年齢もバラバラなグループに分かれて、避難所に見立てた模造紙の上に避難者の情報や条件が記載されたカードを並べていきます。最初は探り探りだった参加者も次第に賑やかになり、議論が白熱することも。避難所運営に正解はありませんが、大切なのは避難者ひとりひとりへの配慮の心。大きな災害が少ない富山県だからこそ、いざというときのための備えを。今回の研修会は、地域の結束を強める貴重な機会となりました。

糖尿病と良い関係を築くために

富山赤十字病院 総合内科部長兼糖尿病・内分泌・栄養内科部副部長
川原 順子



みなさん、こんにちは。富山赤十字病院 糖尿病内科の川原順子です。

糖尿病は、何もしなければ、血糖が高い状態が続く病気です。手術で切って治るとか、風邪のように自然に治るということはありません。そして、慢性的な高血糖、さらに高血圧や脂質異常症、肥満が重なり、全身に様々な合併症が起こります。糖尿病が原因で失明したり、足を切断したり、脳梗塞や心筋梗塞に罹患する、腎不全になり人工透析を受ける……。糖尿病は多くの人の健康を障害し、寿命を奪ってきました。

糖尿病で苦しむ多くの人を助けたいと、世界中の医師、薬剤師、研究者や製薬会社が努力してきました。その成果の1つがインスリンの発見と製剤化、そして人々が使いやすいように製品が改良され、値段も安くなりました。また、2000年以降、新しい薬剤が登場し、糖尿病患者さんの血糖コントロールと合併症予防に役立っています。

一方で、糖尿病はなかなか気づきにくい病気です。痛いとか痒いということがなく、血糖値が高いことは血液検査でしか分かりません。長年の高血糖の結果、合併症が出てしまってからでは改善しようがないのです。また、もし糖尿病と分っても、自分でなんとかしたいから頑張ってみたいという人もいます。その気持ちは理解できます。ですが、そうこうしているうちに、危険なレベルまで血糖値が高くなることも多々あります。糖尿病とわかったら、まずは早めにかかりつけの先生を受診してください。

糖尿病の療養が長くなってくると、患者さんが望む血糖コントロールがつかないことが出てきます。しかも、糖尿病治療の基本である食事療法と運動療法は、無意識に行っている普段の生活を何らかの形で変えていくことを患者さんに迫ります。血糖は良くしたい、一方で日々の治療の困難さに思い至り、葛藤が生じます。そして大体において、患者さんは自分を責めがちです。そんなときは、栄養士さん、看護師さん、主治医の先生に、相談してください。ご家族がいれば、糖尿病について話し合ってみてください。



無理をしないで、楽しく糖尿病とつきあっていければ良いですね。より効果的で、なおかつ患者さんの負担が軽減された治療法もあります。もし、糖尿病の療養でお困りのことがありましたら、当院へのご紹介をかりつけの先生にお願いすることもご検討ください。わたしたち富山赤十字病院の医師、看護師や栄養士が、お困りごとを伺います。心よりお待ちしております。

日本赤十字社富山県支部受託富山県立乳児院 短期入所生活援助事業（ショートステイ）

皆さんは、「ショートステイ」というサービスをご存じでしょうか？
ショートステイは、乳児院で2歳未満のお子さんを日中だけでなく、夜間も含め短期間（7日以内）お預かりするサービスです。
ご両親の急な入院や仕事の都合で、お子さんをみてくれる人がいなくてお困りの際にご利用頂けます。
ご利用を希望される方は、お住まいの市役所や役場にご相談下さい。



「思いをつなぐ 相続・遺言のセミナー&相談会」を開催しました

日本赤十字社は令和5年3月15日に日本司法書士会連合会と包括パートナーシップ協定を締結しました。この協定の趣旨に基づき、11月11日に富山県民会館にて富山県司法書士会と共催、日本司法書士会連合会、富山地方法務局の後援で「相続・遺言のセミナー&相談会」を初めて開催しました。

セミナーでは、富山県司法書士会から相続や遺言の注意点などについて、富山地方法務局から自筆証書遺言書保管制度について説明があり、日本赤十字社富山県支部からは赤十字の歴史や活動について紹介させていただき、セミナー終了後は富山県司法書士会が相続の手続きや、遺言の作成などについて個別の相談に応じました。

当日は40名以上の方にご参加いただき、熱心に耳を傾けておられました。参加者からは「不動産の相続登記の義務化について学ぶことができた」や「赤十字事業について理解を深められた」などのお声をいただき、今後寄付先として赤十字に思いを託していただけるよう、日本赤十字社富山県支部はこれからも各事業に積極的に取り組んで参ります。

